



H20. 6. 3 No1249
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部 漁政課
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

し、平成19年度事業報告及び20年度事業計画等を上程し、全事項可決承認されました。20年度事業では、若年世代の「魚離れ」の進行に対応して、とりわけ子供たちに対して魚食普及活動を展開し、「魚離れ」の人を作らないように、次代の魚食を担う若い世代の育成に取り組む計画です。

なお、任期満了に伴う会長等の選任の結果、会長に橋ヶ谷善生(県漁連会長)、副会長に白井康晴(社県魚市場協会会長)、鈴木米男(県水産物商業協同組合副理事長)、中山嘉昭(県水産加工連会長)、監事に宮原淳一(県信漁連会長)、田形正彦(静岡市中央卸売市場仲卸協同組合理事長)、久保田一利(静岡市水産漁港課長)が選任されました。(敬称略)

5. 平成19年静岡県の海面漁業・養殖生産統計を公表 海面漁業生産量2%減少

関東農政局静岡農政事務所では、このほど、平成19年海面漁業・養殖業生産統計(概数)を公表しました。

それによると、県内海面漁業・養殖業の総生産量は、21万6,606トンで、前年に比べ4,190トン(2%)減少し、このうち、海面漁業は、21万3,294トンで、主に遠洋カツオ・マグロまき網、近海カツオ・マグロまき網及び遠洋マグロ延縄が増加したものの、大中型1そうまき網その他等が大幅に減少したため、前年に比べ4,412トン(2%)減少しました。海面養殖業は、3,312トンで、マアジ、マダイ等の魚類が減少したものの、海藻類等が増加したため、前年に比べ221トン(7%)増加しました。なお、海面漁業の主要魚種別生産量は次のとおりです。
▽カツオ:9万2,104トン(前年比7%減)▽サバ類:4万3,306トン(同34%減)▽マグロ類:3万8,998トン(同28%増)▽シラス:8,806トン(同20%増)▽マイワシ:607トン(同18%減)

6. 第28回全国豊かな海づくり大会 写真コンクール作品募集

第28回全国豊かな海づくり大会が、9月7日(日)、新潟県新潟市において「生きている 生かされている この海に」を大会テーマに開催されます。このため、(社)全国豊かな海づくり推進協会では、大会の趣旨を広く国民に理解して頂くために、写真コンクールを実施いたしますのでお知らせします。

▽応募方法:画題、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業または在学学校名・学年、連絡先、電話番号、撮影日・場所、撮影データを記入した応募票(自作のもの可)を作品の裏面にテープで貼る(ノリ付け不可)▽題材:①水産業ならびに海とその生活に関するもの②漁業、漁港、市場、漁村風景、海の生物に関するもの▽部門:中学生の部、高校生の部、一般の部▽サイズ:サービス版～ワイド四ツ切のカラー又は白黒プリント、デジタルカメラのプリント可▽発表:入賞・入選作品は第28回全国豊かな海づくり大会において発表・展示▽応募締切:平成20年7月11日(金)▽送付・問合せ先:〒101-0047 東京都千代田区内神田2-2-1 鎌倉河岸ビル4F (社)全国豊かな海づくり推進協会 Tel03-5297-2651

7. 本会人事異動のお知らせ

本会では次のとおり職員の人事異動を発令しました。(カッコ内は旧役職)
◇異動 6月1日付▽指導部長代理 森 幸裕(同兼漁協合併推進室長)▽指導部漁協合併推進室長 岩ヶ谷寿保(焼津事業所購買課長代理)▽あさり出荷センター二枚貝担当主任 藤沢俊也(沼津事業所二枚貝担当主任)▽同センター 佐藤 昇(沼津事業所同センター)▽同センター 望月 透(沼津事業所)▽嘱託採用 沼津事業所 深沢直実◇退職 5月31日付 扇山翔太(沼津事業所)

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう

1. 平成19年度水産白書を公表

去る5月22日、「平成19年度水産の動向・平成20年度水産施策」(水産白書)が閣議決定され公表されました。

まず冒頭の「トピックス～水産この一年～」で、大きな話題として、①燃油価格の高騰による影響 ②鯨類の持続的な利用に向けて ③ワシントン条約第14回締約国会議 ④我が国周辺水域のクロマグロ資源の合理的な利用に向けて ⑤マグロ養殖業への期待 ⑥異業種との連携で広がる新ビジネスの可能性 ⑦海洋基本法が制定、の7つの項目について、その動向を取り上げて紹介しています。

第I章では、毎年テーマを変えて特集を組んでいますが、今回は「伝えよう魚食文化、見つめ直そう豊かな海」と題して、魚食文化を伝える新たな胎動として、①大型量販店での対面販売の強化 ②「さかな」の語り部、伝道師を育てるマイスター制度がスタート ③インターネットを活用して販路開拓をするとともに水産物の魅力を伝える取組み ④魚食文化の良さなどを学び、子供たちに伝え広げる食育の促進 ⑤我が国周辺の資源が豊富な魚を食べることで、自給率を向上させるとともに漁業や食文化を守る、と記述しています。

第II章では、18年度以降の我が国の水産物需給や漁業を巡る国際動向、漁業経営の状況及び安全で活力ある漁村づくりと水産業・漁村の多面的機能の発揮について記述しています。

また、平成20年度の水産施策の重点として、水産資源の回復・管理を推進するとともに、漁船漁業構造改革や新たな漁業経営安定対策の導入等により、国際競争力のある経営体を育成・確保し、国民への水産物の安定供給と、これを支える力強い水産業と豊かで活力ある漁村の確立を図るとしています。

2. 第52回通常総会を開催

—JF 静岡女性連—

JF 静岡女性連(会長理事:津島幸子稲取漁協女性部長)では、去る5月23日、県水産会館において第52回通常総会を開催し、平成19年度事業報告及び20年度事業計画等を上程し、全事項可決承認されました。20年度事業では、昨年に引続き、魚食普及活動や環境保全事業等を女性の特性を活かして積極的に推進して行く計画です。

3. 第18回通常総会を開催

—県遊漁船業協会—

去る5月26日、県遊漁船業協会(会長:藤井多喜男下田市漁協長)では、県水産会館において、第18回通常総会を開催し、平成19年度事業報告及び20年度事業計画等を上程し、全事項可決承認されました。20年度事業では、「遊漁船業務主任者更新講習」及びフィッシングスクールの開催等のほか、安定的な漁場利用関係の確保に努めて行く計画です。

なお、役員欠員に伴う補充選任の結果、副会長理事に熱川 裕(静岡市経済局長)、理事に荒川邦夫(戸田漁協長)が選出されました。(敬称略)

4. 第30回通常総会を開催

—県おさかな普及協議会—

去る5月26日、県おさかな普及協議会では、県水産会館において第30回通常総会を開催

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう